

『野付学』でつなぐ郷土の夢～幼小中一貫ふるさとキャリア教育～

2018年度改訂



地域の願い	みんな、野付の子 さあ、つながろう！ ※「アマモ」と「おもち」・ア(あいさつ)・マモ(守る)・おも(思いやり)・ち(挑戦) ◆あいさつのできる子 ◆ルールや約束を守る子 ◆思いやりのある子 ◆失敗を恐れず挑戦する子 野付学校区コミュニティスクール推進委員会・野付地区幼小中合同研修会									
	幼稚園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
全体イメージ	小1と年少～年長の「学びの姿」の共有化・共通化		学びの姿の観点 ・生活や学習習慣 ・学習規律 ・学力や体力 ・言葉遣い ・心の育ち ・社会性				小6と中1の「学びの姿」の共有化・共通化		15歳の春の姿を12年間の目標とする。	
	野付中学校教員が野付小学校の外国語(70)・音楽科(48)・体育科(3～5)・社会科(1～3)授業へ乗入れ									
	野付小学校 あたり前十か条(授業中のルールや学習習慣など)					野付中学校 授業の約束7カ条・授業で使う話型モデル				
実践課題	野付小学校 研究テーマ 「認め合い、 学び合う 子」					野付中学校 研究テーマ 「自ら進んで、 学び合う 生徒」				
	「野付の子のめざす姿」学習習慣表・生活習慣表									
	「21時にはスマホを親に返すか居間に置く」「スマホを使って人を馬鹿にしたり傷つけたりしない」ネットマナー講習会の実施					「22時にはスマホを親に返すか居間に置く(スイッチOFF22)」「スマホを使って人を馬鹿にしたり傷つけたりしない」毎朝の点検・ネットマナー講習会の実施				
と地域つながる産業	野付の自然、生活、文化などに興味をもつ。野付の自然やふるさとに興味・関心を持つ。野付の自然やふるさとへの関心を高め、知識を習得する。野付の気候や風土歴史を理解し、具体的な実践力を養う。									
	地域の良さや尊さに気づく。まとめや発信を通して将来の夢や希望をもつ。									
	活動時数 生活科 小1:102 小2:105 総合的な学習の時間 小3～小6:70									
と地域つながる自然	野付の豊かな水産物を自慢しよう(総合) 北海しまえびを知ろう(7月総合) 野付の豊かな水産物を自慢しよう(総合) さげ学習(2学期総合)									
	野付の自然を体感しようツアー(6月 生活・総合) 事前授業(野付半島の自然と動物)(総合)									
	自然「鳥・花・アマモ」(総合)									
と地域つながる歴史	野付の歴史について調べよう(6月社会)									
	異世代交流(11月総合2) 職業人講話(10月総合1) 郷土の歴史学習Ⅰ 縄文～アイヌ文化と野付(社会2)									
	北方少女塾(9月総合6) 職場体験学習(9月総合16) 郷土の歴史学習Ⅱ 江戸時代の野付(社会2)									
進路・国際理解学習	野付の歴史について調べよう(6月社会)									
	異世代交流(11月総合2) 職業人講話(10月総合1) 郷土の歴史学習Ⅰ 縄文～アイヌ文化と野付(社会2)									
	北方少女塾(9月総合6) 職場体験学習(9月総合16) 郷土の歴史学習Ⅱ 江戸時代の野付(社会2)									
地域人材	野付の歴史について調べよう(6月社会)									
	異世代交流(11月総合2) 職業人講話(10月総合1) 郷土の歴史学習Ⅰ 縄文～アイヌ文化と野付(社会2)									
	北方少女塾(9月総合6) 職場体験学習(9月総合16) 郷土の歴史学習Ⅱ 江戸時代の野付(社会2)									
防災	野付の歴史について調べよう(6月社会)									
	異世代交流(11月総合2) 職業人講話(10月総合1) 郷土の歴史学習Ⅰ 縄文～アイヌ文化と野付(社会2)									
	北方少女塾(9月総合6) 職場体験学習(9月総合16) 郷土の歴史学習Ⅱ 江戸時代の野付(社会2)									

アマモは野付湾の生態系の根幹。水産資源の「ゆりかご」であり、酪農地帯から流入する4本の川からの過剰養分を浄化する。保護には周辺の森

中3時に「野付学」に関する教育活動を修了した生徒に、野付学修了証を授与する。

地域サークルの方々による定期的な「読み聞かせ」など読書活動と、NIEの推進

野付センター、野付漁協(含青年部・女性部)、読み聞かせサークル「ねぎぼうず」、尾岱沼丹長寿会、別海町郷土資料館学芸員、竜神太鼓保存会、青少年旅行村、サーモンパーク科学館学芸員、別海漁協、別海町女性農業士会、霧多布湿原センター、さげます資源管理センター、町内各事業所、保護者、地域の方々

＜幼・小・中・地域の連携した避難訓練の実施＞
 ①小学校⇒高学年が低学年をケアしながら尾岱沼地域センターへ避難。② 中学生が幼稚園児をケアしながら尾岱沼地域センターへ避難。③ 保護者へ園児・児童・生徒の引渡し。